

教育新聞の「愛知県での歴史」と「活用する良さ」

【教育新聞の愛知県での歴史】

平成 2 年 ①都市及び町村教育長協議会長より、県小中学校長会に
「教育新聞三河支局」の開設を要請

②三河校長会で「支局開設の承諾」及び「購読者募集を
郡市校長会で行うこと」等を申し合わせる

平成 3 年 ①三河支局「購読募集開始」

②教育現況発信「愛知県版」の創刊…県版定期発刊は全国で愛知県のみ

平成 8 年～ 尾張支局開設

* 現在、県版は愛知の義務教育の貴重な資料として「愛知県公文書館」に収蔵！



【教育新聞を活用する良さ】



若手教師へ『教師は時として役者でありたい』と説く。それには、多様な情報を収集・選択して、多彩な言語を駆使する才知が必要であり、新聞記事には、そのための直近の現場情報や伝え方の事例が数多くある。また、記事は学校経営や指導における重要な素材そのものであるため『講話』や『通信』への引用・転用が容易である。

↓ **新聞記事活用！3つの良さ！**



① **教育特化の最新情報**（紙面版月7回、電子版毎日更新）で知見が広がる

・テーマ別で記事を整理して掲載（現時 10000 件以上の記事が閲覧可能♪）

- ①「PBL・探究学習」 ②「教員 働き方改革」 ③「GIGA スクール」
- ④「教員不足」 ⑤「個別最適な学び」 ⑥「教員免許更新制」
- ⑦「教員制度改革」 ⑧「給特法」 ⑨「オンライン授業」
- ⑩「デジタル教科書」 ⑪「企画特集」 ⑫「解説・連載」他

～今の教育の方向や言葉の意味を知っているのは強い～



② **教育情報や価値ある体験談などから教員としての専門性が向上する**

- ・専門家の「オピニオン（意見・見解）解説」記事で教育動向を知り理解する
- ・県版記事の現場教師の「体験や生の声」は、良き事例として生かせる内容が多い
- ・コラム「鉄筆（全国版）」「こだま（県版）」から教育的視野が広がる

～見方・考え方が広がり、教育活動の作り方やその伝え方に説得力が増す～

③ **「連載」等の利用で自己研鑽や現職研修用の資料が充実する**

・「連載」記事を並べて質の高い現職教育の研修資料を作成する

例 1：「あらゆる教科で誰でも簡単に使える ICT 教育アプリ「ClassPad.net」他）

例 2：教員採用試験「面接の○回答×回答」（～185 話「働き方改革への取り組みは」）

例 3：「日常指導のポイント」（～20 話「問題行動・不登校をどうする」）

例 4：「自由に、もっと深く学ぶために」：第 6 話～一斉授業との関係～（全 10 話）

～自己研鑽だけでなく、研修資料としても使える財産になる～

「恒学歴」 恒(つね)に学んだ知識・技能を積み重ね活かす**教員へのお手伝い**